

研究課題 学校関係者評価委員が評価活動に参画する手立てを試行し、その評価結果を学校改善に生かす取組に係る実践研究

よりよい学校づくり 教育の質の向上のための学校評価

札幌市立手稲西中学校

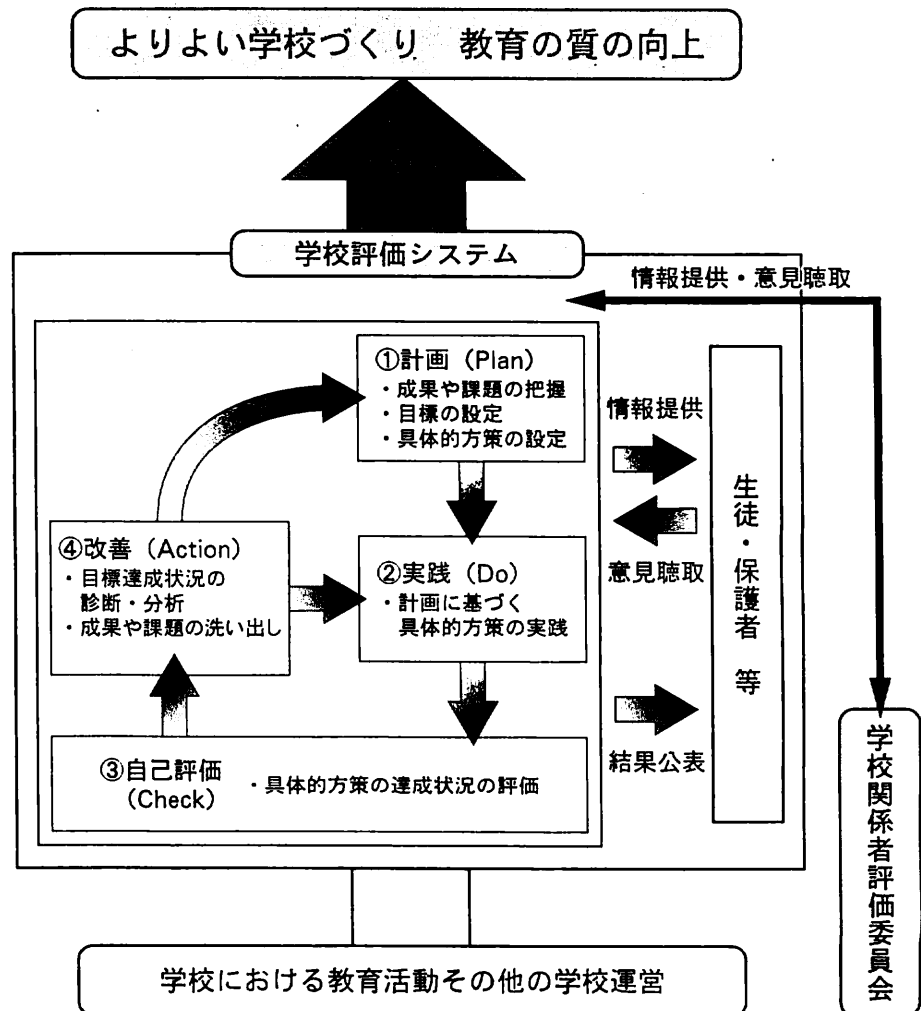
I はじめに

学校評価による学校改善を目指して

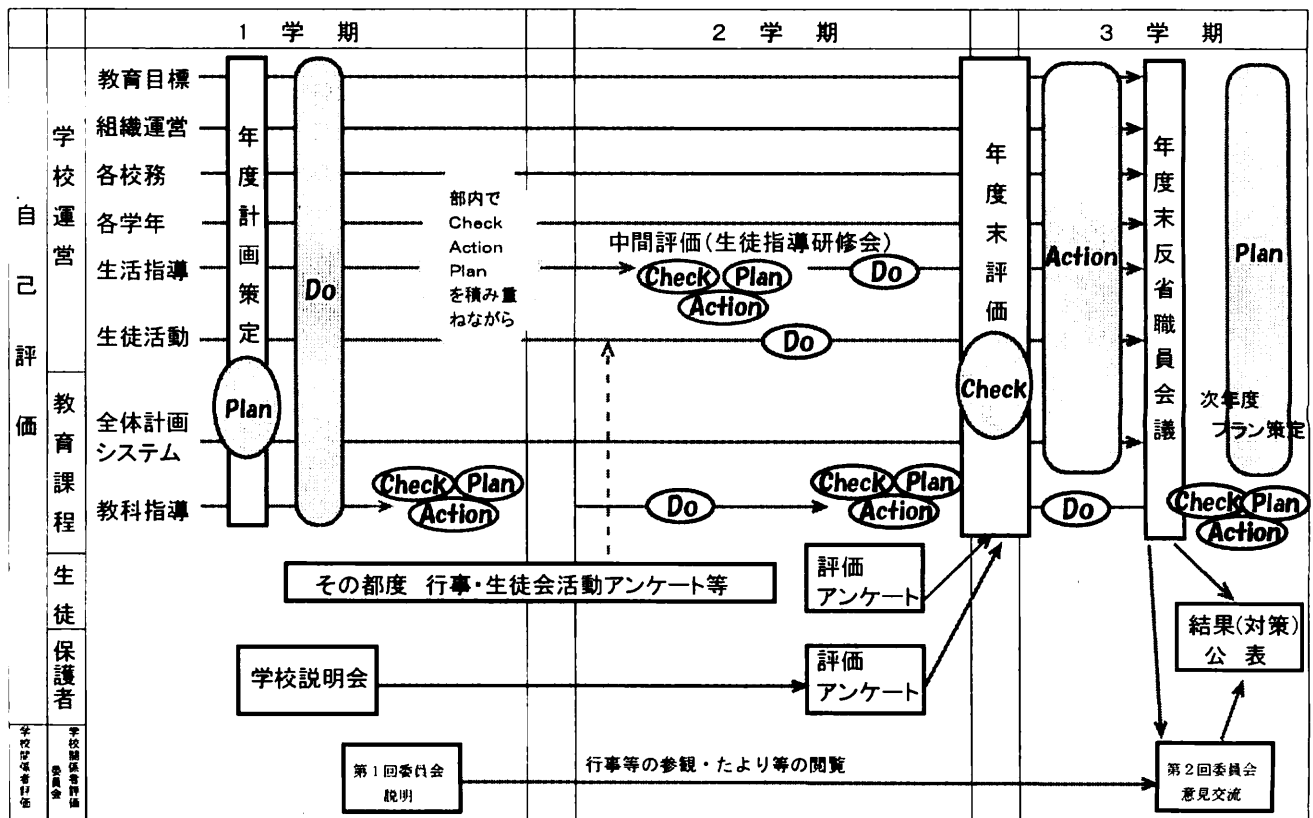
1 本校における学校評価のねらい

- (1) 教育目標を達成するための取り組みを振り返り、成果と改善点を明らかにし充実・改善を図ることで、より確かな教育活動を目指す。
- (2) 全教職員が一体となって目標実現に向け日々実践し、成果や課題を共有する中で、組織の活性化や教職員の参画意識の高揚を図る。
- (3) 学校運営についての考え方や結果について、保護者や地域に説明するとともに、意見を学校づくりに反映させ、保護者、地域と連携・協力して教育を展開する開かれた学校づくりに努める。

II 評価の流れ



III 学校評価の一年間の流れ



IV 学校評価の方法

学校評価の基本となることと評価項目

☆ 基本となること

年度反省と学校評価の一元化を目指す

- ①「年度計画 (Plan)」を4月当初に策定し、「方針職員会議」で提案する。
- ②年度途中で部内で、〈実践 (Do)・評価 (Check)・改善 (Action)〉を繰り返す。
- ③2学期末に評価アンケートを実施して、「年度末評価 (Check)」を行う。
それを受けて分析、改善案 (Action) を「反省職員会議」に提案し、「次年度計画 (Plan)」の策定につなげる。

1 自己評価

(1) 教職員

- ①様式 「学校運営要覧等に従い項目立てを行うこと」を基礎として、必要に応じて各部独自の形式を上乗せして実施する。
- ②アンケートの製作母体
 - ・学校教育目標、組織、運営 → 企画評価検討委員会
 - ・各校務 → 各校務
 - ・生活指導 → 生徒指導部
 - ・生徒活動 → 生徒活動部
 - ・全体計画、システム → 企画評価検討委員会
 - ・PTA関係 → PTA担当教諭
 - ・教科指導 → 従来と同様に教科内で評価する

③実施方法

〈年度途中・中間評価〉

- ・各部、各学年、各教科での検討を主とし、必要に応じてアンケート調査を行う。改善策の提案がある場合は、間近の職員会議で行う。
- ・生徒指導の中間評価については、生徒指導研修会で提案する。

〈年度末評価〉

- ・各製作担当部から（企画評価検討）委員会が集約し、2学期末に全教職員に「(校内)評価アンケート」を配付、3学期始めに回収し、各担当部へ。各部で結果を集約、分析し、「反省職員会議」で部内反省と併せて提案する。

(2) 保護者

教職員アンケートの項目とリンクを意識しつつ、包括的に20項目程度を設定し、2学期末に評価アンケートを実施する。

(3) 生徒

- ・教職員アンケートの生徒に関わる項目とのリンクを意識しつつ、包括的に20項目程度を設定し、2学期末に評価アンケートを実施する。
- ・生徒活動部による学校行事、生徒会活動反省アンケート、感想等をその都度、フィードバックする。

※保護者、生徒向けアンケートとも学級で回収し、企画評価検討委員会を通して関係各部・学年で分析して改善策を策定する。その結果を「反省職員会議」に提案する。また、3月始めをめぐり、「学校だより」「学校HP」で結果・方策等を公表する。

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員会の構成

昨年度までは、学校評議委員（2名）のみによる学校関係者評価であったが、今年度から正式に学校関係者評価委員会を立ち上げた。

構成員は、校区内の小学校長1名、学校評議委員2名、PTA事務局から3名、これに本校の管理職が2名加わり、8名体制とした。

特に、9年間を見据えたそれぞれの学校運営への手立てとするため、小中の学校長がお互いの評価者委員となることを、この委員会の特徴とした。

(2) 学校関係者評価書の作成までの流れ

〈8月 第1回委員会〉※次年度から5月に予定

委員の委嘱、趣旨説明

学校経営方針と今年度の重点の周知

学校評価の年間計画と評価の方法等について

〈9月 学校祭の見学〉

〈11月 合唱コンクール、授業公開等の見学〉

〈年間を通して〉

学校だよりや各種通信の閲覧

定期的な学校訪問

〈3月 第2回委員会〉

各種評価アンケートの集約や分析また、「反省職員会議」における自己評価結果を事前に提示し、委員会当日各委員の評価結果を求める。

委員会では、一つひとつの項目について詳しく説明し、「自己評価の適切

さ」と「改善策の適切さ」の2つの観点でA（十分である）、B（おおむね十分である）、C（やや不十分である）、D（不十分である）の4段階の評価を受ける。

最終的に委員の合議により、学校関係者評価書を作成し、その後の職員会議で教職員に提示する。

V 評価結果の公表と効果

1 公表の方法

本校では、生徒保護者アンケートの集計結果を以下の方法で公表している。

- ・学校だより「滝の音」に掲載し、保護者と校区内の町内会に配布。
- ・学校ホームページに掲載。
- ・学校評価の結果から、どのように改善を図っていくかを新年度（5月初旬）の学校説明会や各学年のPTA集会で説明。

2 公表の効果

- ・保護者からは、従前はPTAという組織の一員として学校というものを評価してもらっていたが、評価委員会という別な組織からも見ることで、多面的に学校を見て貰うことが可能になる。
- ・教職員にとっては、自己評価のみならず、第三者による反省や意見も学校運営に反映されているということが理解されるようになっている。
- ・地域住民からの学校への理解が深まりつつある。
- ・一小一中といった、市内でも特殊な校区であるがその管理職がお互いの評価委員になることで、小学校と中学校が、より連携した学校運営が可能になるであろうと予想される。これは他の校区では不可能なことであり、手稲西地区はこのような特質を有効に活用していきたい。

VI 成果と課題

従来からの自己評価（自己反省）に、学校関係者による評価が加わることでさらに多面的な評価が可能になった。これにより次年度の学校運営への改善点がより明確になり、従来からのP→D→C→Aサイクルによる評価システムに、客観性も加わることになる。

課題としては、今後、継続して学校関係者委員をどう選出していくかがあげられるが、これに対しては、学校長以外にも小学校と中学校に共通した方々を2～3名程度選出することで、小中9年間を見通した運営計画の策定も可能になるであろう。また、学校にどの程度関わり合いをもつ方なのかも重要で、人選には慎重を期したい。

さらに、C（check）からA（Action）へをどう有効に機能させるのか大きな課題となっており、反省までは機能しても実行に移せず、反省段階で終わりにならぬよう、評価結果を有効に教育課程に反映させていきたい。

平成23年11月29日

保護者の皆様へ

札幌市立手稲西中学校
校長 小原 善孝

平成23年度 札幌市立手稲西中学校保護者アンケートのお願い

朝夕の身を切る寒さに、初冬の訪れを感じる今日この頃、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から、本校教育に対しまして、ご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本校における教育の一層の向上を図るため、保護者の皆様から本校の取組についての評価をお聞かせいただきたく、ご多忙のおりとは存じますが、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

【記入要領】

- ※ 機械で処理しますので、「HB程度の鉛筆を使用」してください。(ペン等では認識されません)
回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目をつけたりしないように注意してください。
- ※ 「評価」の欄に下記の①～④を参考に、記入例にしたがって当てはまる数字を塗りつぶしてください。
評価が難しいと思われる項目については、「空欄」のままで結構です。また、「子どもは」の項目については、自分のお子さんを念頭にお答え下さい。

④：よくあてはまる ③：ややあてはまる ②：あまりあてはまらない ①：全くあてはまらない

〔 家庭学習(塾・家庭教師を含む)の項目については
④：2時間以上 ③：1時間～2時間 ②：30分～1時間 ①：ほとんどしていない 〕

- ※ 複数のお子様がいる場合、お子様の人数分がお手元に届いていることと存じます。一人のお子様分については回答可能なすべての設問にご回答いただきたく存じますが、他のお子様分につきましては「子どもは」の設問のみのご回答で結構です。ご多忙のおりとは存じますが、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

※ 記入例

- ※ まとこに恐れ入りますが、12月6日(火)までに、学級担任の方までご提出いただければと思います。

【保護者用アンケート】

1	学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。
2	学校だよりや各種だよりで学校での子どもの生活の様子を知ることができる。
3	学校は、授業や行事等を参観する機会を適切に設けている。
4	学校は、子どもの良い所や努力を適切に評価している。
5	学校は、施設・設備の整備に努め、安全で整った教育環境をつくっている。
6	学校は職業や進路についての適切な指導や情報提供を行っている。
7	学校は、生徒の学習の評価について、子どもや保護者に分かりやすく示している。
8	学校は、子どもの学力や学習の様子を適切に評価している。
9	学校は、指導方法や教材等を工夫して、分かりやすい授業づくりに努めている。
10	子どもは、学校の授業内容を理解している。
11	お子さんは、家庭での学習(塾・家庭教師を含む)を1日に平均してどのくらいしていますか。 (①2時間以上 ②1～2時間 ③30分～1時間 ④ほとんどしていない)
12	子どもは、中学生としての基本的な生活習慣を身に付けている。(時間、あいさつ、服装、髪型など)
13	学校は、挨拶やルール、マナー等、社会に通用する指導を行っている。
14	学校は、いじめや悪い行動に対して適切に指導している。
15	学校は、厳しさの中にも優しさのある生活指導をしている。
16	子どもは、学校生活のきまりを守って生活している。
17	子どもは、学級活動・生徒会活動や各種行事など熱心に取り組んでいる。
18	子どもは、伸び伸びと学び、安心して学校生活を送ることができている。
19	家で、子どもと学校のことについてよく話しをする。
20	授業参観や学級懇談、各種行事などにできるだけ参加している。

・子どもへの願いや、学校改善の方法について、お気づきの点がございましたらお書きください。

--

【生徒用アンケート】

1	あなたは、生活の3本柱を意識して学校生活を送っていますか。
2	あなたは、学習スローガンを意識して授業に臨んでいますか。
3	あなたは、学習の評価・評定の仕方について理解していますか。
4	あなたは、授業に集中し、意欲的に取り組んでいますか。
5	あなたは、学校の授業内容が理解できていますか。
6	あなたは、家庭での学習(塾・家庭教師を含む)を1日に平均してどのくらいしていますか。 (①2時間以上 ②1～2時間 ③30分～1時間 ④ほとんどしていない)
7	あなたは、挨拶をきちんと交わしていますか。
8	あなたは、先生に対して時と場に応じてきちんとした言葉づかいや態度をしていますか。
9	あなたは、他の生徒に対して相手の気持ちを考えた言葉づかいや態度をしていますか。
10	あなたは、先生方の指導を素直に受けとめていますか。
11	あなたは、学校生活のきまりを守って生活していますか。
12	あなたは、いじめや人のいやがることをしないよう相手の立場を大事にして生活していますか。
13	あなたは、給食や清掃などの当番活動をきちんとやっていますか。
14	あなたは、係活動など、学級活動に積極的に参加していますか。
15	あなたは、学校祭や合唱コンクールなどの行事に積極的に取り組みましたか。
16	あなたは、学年球技大会、レクなどの体育的行事に積極的に取り組みましたか。
17	あなたは、委員会や生徒会活動に積極的に協力したり、参加していますか。
18	あなたは、伸び伸びと安心して学校生活を送ることができていますか。
19	あなたは、学校のことを家で話していますか。
20	あなたは、自分の健康管理ができていますか。